

「小布施町町並み修景事業とその成果」



小布施堂裏手から悠然楼へ続く通り庭。



小布施堂外観。背後に悠然楼。高木鴻山と大書した幟が門前に。



竹風堂裏手の日本あかり博物館。



桜井甘精堂ファサード。

推薦●小布施・民間主導の町づくり

北信濃の「北斎と栗の里」小布施は、13年前の北斎館開設、そのパトロンだった高木鴻山邸・悠然楼の復原・公開計画に発した、町並み修景事業の成果で最近とみに名が高い。それが名産・栗菓子老舗の〈小布施堂〉〈桜井甘精堂〉〈竹風堂〉3店を中心とする、地域住民・地元企業一致の協力態勢に、自

治体も1地権者として協力する民間主導型で行われたことは画期的。またそこにそれぞれ有能な建築家・デザイナーが参画し、サイン景観としても優れた成果を挙げていることでも注目される。